

# ふじさわネット通信

2023年2月 第54号

発行 みんなの教育・ふじさわネット  
代表 松本 一郎 TEL・FAX 0466-33-4820  
ホームページ <https://mkfnet.com>  
E-mail [info@mkfnet.com](mailto:info@mkfnet.com)



## みんなの教育・ふじさわネット

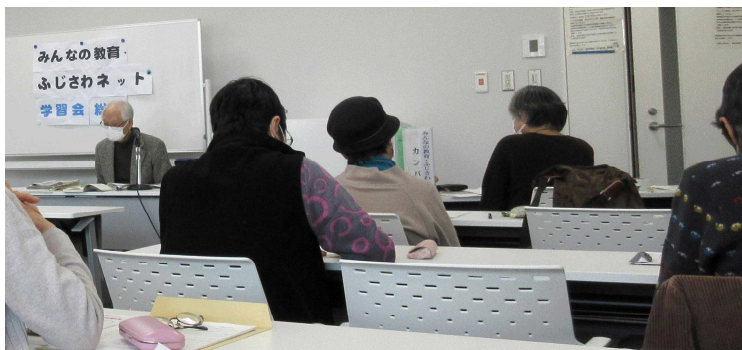
### 学習会と第15回総会

1月29日(日)藤沢市役所市民利用会議室

みんなの教育・ふじさわネットは、2023年1月29日(日)、藤沢市役所市民利用会議室で学習会と第15回総会を行いました。

学習会は、杉本克彦さんが「子どもの育ち家庭に責任があるのー家庭教育支援法で教育はどうなる」のテーマで話題提供、参加者が意見交換し、内容を深めました。

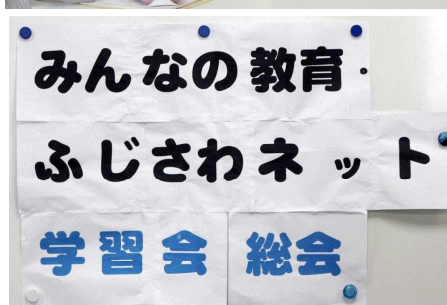
参加者の感想を紹介します。



○とても良い勉強になりました。今日、学習したことをどのように生かしていくのか大事なことだと考えます。

○教育については全く知識がありませんが、杉本さんのお話大変参考になりました。ありがとうございます。

新しい教育長が、私たちにとって善い人であればと祈るばかりです。



話題提供 杉本さん

○とても勉強になる話を聞かせていただきました。子どもは社会で育てていくという視点が全く抜けているのが問題だと思います。法案の文面から削除されたようですが、「子に国家及び社会の形成者として必要な資質が備わるようにする」というのが、政権側の本音だと思います。杉本さんのレポートにある通り、戦争のできるくにづくり、戦前につながる動き、天皇制にもつながる問題です。それから統一教会問題も教会そのものだけでなく、政治家との関係の追及を忘れてはいけないと思います。

総会では、2022年度活動報告・総括、会計決算報告・監査報告に続いて、2023年度運動方針と会計について検討しました。2023年度運動方針は、①要求で一致できる多くの市民・団体・議員と共同し、教育条件整備の充実を求める②今年度は小学校教科書の採択年。子どもたちが自由に考え、話しあい、学べるように、記述内容についての政治介入を許さない運動を継続する。教科書採択の透明性、公開制をさらに進める③学校の大規模化の問題、過小規模化の問題に、市議会、教育委員会とも連携し、地域住民や現場の先生方の意向、子どもの声を尊重した解決の方向をさぐる④GIGA スクール構想、ICT教育については学校現場の課題、子どもたちの健康面、経済的負担なども含め、広く検討する、等を決定しました。

教科書採択、GIGA スクール構想、ICT教育の他にも学校をめぐる課題は多く、学校適正規模・適正配置、学校プール集約化、部活動の地域移行などについて方針の検討、具体化、モデルケースの試行が藤沢市でも進められています。これらは行政主導、財政優先で進められる恐れがあります。「子どもを真ん中に置いた議論」が進められるよう十分に注視していくことが求められます。

### 総会議案書の訂正

加藤なを子さんより、議案書のP4に「県議会で私学助成を求める署名は、全会一致で採択された」とあるが、実際は「教育費の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願は共産党、神奈川ネットの賛成で不採択になった」(厚生)ということだとの指摘がありました。議案書をご指摘のように訂正します。

## 学校プールの集約化 経費削減と教職員負担軽減 2月21日藤沢市議会文教常任委員会

教育委員会は2月21日市議会文教常任委員会で、学校プールについて課題（①学校プールの老朽化②施設の適切な維持管理や改修にかかる財政上の負担③日常的に水質管理を行う教職員の負担）があるとして、「学校プール集約化に関する方針(案)」を提案しました。手法とスケジュールは次の通り。

### 1. 学校プール集約化の手法

- (1) 学校間での共同利用
- (2) 市営プールの活用
- (3) 民間プールの活用

- ・費用負担を考慮し、徒歩で移動可能な学校を優先的に検討
- ・学校間での共同利用は、原則、徒歩での移動(バス駐車場の課題)

### 2. 今後のスケジュール

- (1) **2022(令和4)年度3月教育委員会定例会にて方針決定** ※定例会は2023年3月17日(金)午後5時～
- (2) 2023(令和5)年度5月～11月各手法による試行事業実施  
各校の意向及び条件整理、11月～3月試行事業の検証及び課題整理
- (3) 2024(令和6)年度以降順次、各集約化手法による水泳授業実施

## 部活動の地域移行 教職員の働き方改革と少子化対策の中で

### 【これまでの経過】

1. 2019年、スポーツ庁と文化庁が「総合的なガイドライン」を策定。
2. 2020年文部科学省「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を通知。  
①令和5年(2023年)度以降、**休日の部活動の段階的な地域移行**を図る  
②休日の部活動の指導を望まない教員が休日の部活動に従事しない
3. 2021年4月以降全国各地の拠点校において実践研究を実施(神奈川県では秦野市が実施)  
スポーツ庁と文化庁が部活動の地域移行に関する検討会議「提言」を取りまとめ  
第1回藤沢市部活動検討委員会開催
4. 2022年12月、スポーツ庁と文化庁は、2023年度から本格的に実施していく公立中学校の部活動の地域移行についての方針を変更し、**2025年度としていた期限を明確な期限を設けないと変更**。

### 【藤沢市の取組と今後の方向性】

#### 2022(令和4)年度

- ①部活動検討委員会を2回(6月・8月)開催
- ②教員・生徒・保護者へのアンケート調査実施
- ③部活動地域移行準備連絡会を設置
- ④継続して指導を希望する教員の兼職兼業の取扱整理

#### 2022年度部活動地域移行準備連絡会

第1回 2022年11月21日(月)

第2回 2022年12月22日(木)

第3回 2023年1月18日(水)

第1回・2回会議録を教委HPで公開

#### 2023(令和5)年度

- ①準備連絡会から協議会に移行
- ②部活動地域移行**実践検証を開始**(2～3ケース) 右表

#### 2023年度地域移行実践検証を開始

A 中学校 陸上部

地域指導者2 + 兼職兼業教員1名

B 中学校 サッカー部

地域スポーツクラブ2名

C 中学校 吹奏楽部

部活動指導員2 + 兼職兼業教員1名

#### 2024(令和6)年度

- ①全校で休日の部活動地域移行の取組開始(20ケース程度)

#### 2025(令和7)年度

- ①全校で休日の部活動地域移行の取組開始(全部活の半数程度)

#### 2026(令和8)年度

- ①全校で休日の全部活動を地域へ完全移行
- ②平日の部活動地域移行についても検討開始



### 映画 教育と愛国 上映会

6月17日(土) 13:30 市民会館第一展示集会ホール

2017年にMBS 毎日放送で放送され、ギャラクシー賞テレビ部門大賞を受賞した「映像17 教育と愛国 ～教科書でいま何が起きているのか～」を、追加取材と再構成によって映画版として完成させたドキュメンタリー。

藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会との共催です。